観測史上最も高気温

甲府よ！どこまで暑くなるんだ？！

熱中症予防アート

救急搬送

暑日

～100年前と現在、どう違う～

〈きっかけ〉
ニュースで、熱中症で搬送される人が増えていることを知りました。
調べてみたら2000年から"熱中症"という言葉が登場したそうです。
今は日中、太陽当たって倒れるだけではなく夜寝てるだけで"熱中症"になる時代。
それに興味が湧きました。

〈7月最高気温別の合計（甲府地方気象台）〉

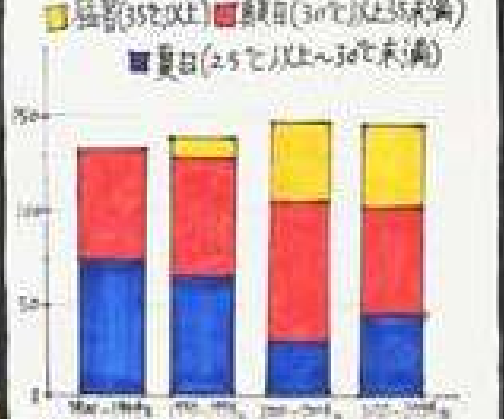
1900～1909年、1950～1959年、2000～2009年、2020～2024年、5年ずつ
ホームページから過去の気象台データをダウンロードし集計。
（国土交通省→気象庁→各種データ・週別のデータ（気象庁→観測→統計））

	1900～1909年	1950～1959年	2000～2009年	2020～2024年
夏日（25℃以上）	134	134	148	146
うち真夏日（30℃以上）	56	69	116	101
うち猛暑（35℃以上）	1	7	41	44
25℃未満（7月最低気温）	69	55	25	17（日）



7月の夏日、真夏日、猛暑日はどのように変化しているか

7月	夏日	真夏日	猛暑日	合計
1900～1909年	74	55	1	130
1950～1959年	65	62	7	134
2000～2009年	32	75	41	148
2020～2024年	45	57	44	146（日）

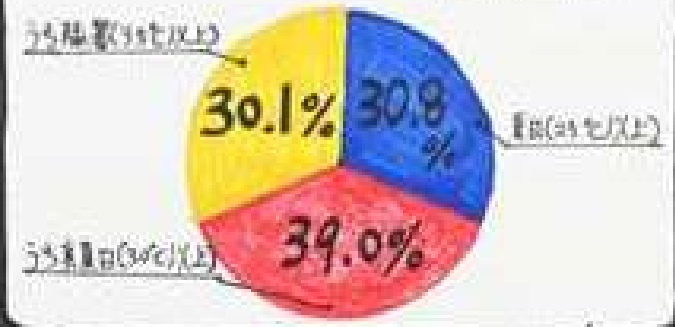


〈100年前との比較〉

一日の最高気温が25℃以上の日の夏日、真夏日、猛暑日の割合
（1900～1909年）



一日の最高気温が25℃以上の日の夏日、真夏日、猛暑日の割合
（2020～2024年）





まとめ

今回の調査で、1900年と2020年の5年間を比較すると、

- 猛暑日は0.8%→3.0%
- 真夏日は42.3%→30.8%
- 夏日は56.9%→39.0%

猛暑日の割合が極端に増えていることが分かりました。

私もよく熱中症になってしまいます。このペースで、猛暑日が増えたら危険だと分かりました。

ペットのことも考えたらますます心配になりました。

2100年には、世界平均気温が6.7℃上昇するだろうと予測されています。その時には89歳、体も弱り、耐えられないと思います。そこで、アラスカに住もうと決心しました。

過去の気象データ参照